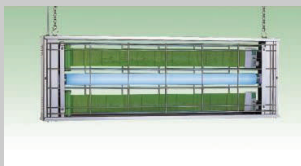


## 商品紹介 捕虫器「ムシポン」

☆厨房や食品工場等にはこちら！  
ムシポンMPS-2000 ¥24,675- (税込)



光で誘って捕虫紙で虫を捕らえます。  
オールステンレス製なので、錆びないのが特徴です。

☆客席や売り場、福祉施設等にはこちらがお勧め！  
ムシポンポケット ¥28,455- (税込)



インテリアタイプの捕虫器です。  
お客様にも気付かれませので、客席での使用に向いています。

取替え用の捕虫紙は1箱(5個入) ¥1,575- (税込)で販売しています。

### 特徴

- ・捕虫器ムシポンは、虫の好む365nm(ナノメータ)の光線で虫を誘引します。誘引した虫を捕虫紙で捕らえます。
- ・従来の電撃タイプは、取り付け場所が法律で定められていますが、ムシポンはどこへでも取り付け可能です。
- ・電殺音や不快な臭い・ケムリを発生したり、虫の死骸がフロアに散ったりしないので、衛生的です。
- ・捕虫紙は使い捨てで、取替えが簡単です。

### 使用方法

- ・出入口や窓際などの進入路や、水周りやゴミ周辺などの発生源付近に設置して下さい。
- ・屋外に光がムシポンの光が漏れると、余計な虫を呼び込んでしまいますので、ご注意下さい。
- ・捕虫紙は定期的に交換して下さい。定期的に交換する捕虫紙の捕獲状態を見て、現在の虫対策が十分か判断して下さい。
- ・小型の虫の多くは2m以上の高度で飛びませんので、捕虫紙は2m以下(1.8m~1.5mが適当)の場所に設置して下さい。

ハエなど小型の虫にお悩みの方は、是非ご連絡下さい。

## 会社名&住所・電話番号変更のお知らせ

### 会社名

(旧) 有限会社フカサワクリエイト  
(新) **株式会社FCC**

### 住所

(旧) 神奈川県藤沢市本鵜沼1-17-19  
(新) **神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32**

### 電話番号

(旧) 0466-55-2101  
(新) **0466-31-3164**

### FAX番号

(旧) 0466-55-2102  
(新) **0466-31-3174**

当社にご連絡の際はお間違いの無いよう、  
宜しくお願い申し上げます。

### 経営理念

1. 私たちは、快適な地球の環境衛生を創造し、  
社会に貢献します。
2. 私たちは、道徳を重んじ、  
心豊かで充実した幸福な人生を築きます。

### 信条

1. 人として正しく
2. 正攻法を貫く

地球の環境衛生を創造する  
**FCC**  
株式会社 fine, comfortable & creative

# 株式会社 FCC

住所: 神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

電話 0466-31-3164

FAX 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail [info@fccsystem.co.jp](mailto:info@fccsystem.co.jp)

# FCC News

## 2007年4月号

NO.0039



### ご存知ですか？

先月号でもお知らせ致しましたが  
専門サイト開設致しました。

ゴキブリ駆除.net

<http://www.gokiburi-kujo.net/>

## たけしの独り言

窓際に暖かな日差しが差し込む季節になってまいりました。今年は、温暖化やエルニーニョ現象の影響で冬らしい冬の訪れを感じる事があまりありませんでしたね！！

しかし、逆に春の季節を感じれる桜や色々な木々や花を觀賞できる期間が早めに訪れるのも事実です。



天気予報では、2月までが冬で3月からは春というシーズン分けをしているそうです。

そして我々にとっては、戦いの時期が迫ってきたということです。冬に比べて契約店様の新規・更新と多くなります。また、モーターや熱源に隠れて冬を越えたゴキちゃん達も徐々に顔を出し始めています。

また、クロゴキちゃんも活動してくるので、一般宅のお客様のお問い合わせの件数も増えてくるでしょう。

そして去年の冬から、鼠の被害によるお問い合わせも多数あり、捕獲・防鼠作業に右往左往しておりますが、2月・3月になってもお問い合わせの数は増える事はあっても減る事はありません。



それもこれも、地球の環境変動によるものだと考えております。この状況を作り上げたのが我々だと思うと、

「何か、複雑だなあ〜。」

と心の中で独り言が・・・。

## チョウバエ類

チョウバエは名前にハエと付いていますが、分類学上はカの仲間です。蝶の様な翅が特徴です。

チョウバエ科は主に腐敗物などが原因で発生します。不快害虫としてや、食品などへの異物混入が問題になっています。



### 発生源と予防法

排水溝、グリストラップなど有機物が豊富で汚れたが溜まりやすい場所は一番の発生源です。壁面や水面に溜まったスカム(腐敗物)で幼虫は育ちます。これは、清掃によってスカムを取り除く事によって、発生を抑える事ができます。

その他、什器下に溜まったゴミが発生源になる事が多々あります。特に生ゴミは危険です。その場合は、そのゴミを取り除いて下さい。

お風呂や流し台周りでの発生した時は配管内の汚れに原因があると考えられます。その時は、配管用の洗浄剤で洗浄して下さい。

ビル等の場合は地下排水タンク、浄化槽が発生源の可能性があります。その時は業者を呼んで定期的な清掃をお勧めします。

### 駆除方法

市販されているピリプロキシフェンを有効成分とする成長抑制剤(IGR剤)を発生源に撒くと幼虫が成虫にならなくなり、今いる成虫はおよそ2週間ほどで寿命を迎えます。



### FCCが考えるお店で出来る対策手順

1. 営業終了後に、熱湯を排水溝、什器下に流します。その後、市販されているピリプロキシフェンを有効成分とする成長抑制剤(IGR剤)を使用 방법에基き希釈し、排水溝や什器下に流して下さい。  
※成長抑制剤の代わりに、次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする漂白剤を薄めて流しても効果があります。
2. 日々の清掃の徹底。什器下を確認し、ゴミがあれば取り除きます。週に一度はグリストラップや排水溝のスカムを取り除き、キレイにして下さい。

## 「食」「農」を軽んじる日本人

政治の話になりますが、前回の衆議院選挙でも、自民党と民主党のマニフェストを見ても、食糧問題と農業問題は一行も書かれていません。

そういう政治化の元に我々はいるわけですから、日本の将来の前に次の子供たちをどうするか、一人一人が真剣に考えなくてははいけません。

海外に食を依存すれば、例えば中国から入ってくる野菜には非常に大量の農薬が入っていたり、台湾のウナギから大量のホルモン剤が出てきたり、チリで養殖しているサケに高濃度の抗生物質が入っていたりということが、数年前から大変に問題になりました。

それからBSEや鳥インフルエンザの問題、遺伝子組み換え食品の問題。ますます、安心・安全な食の環境が崩れていきます。

また、海外に食料を委ねることが何故危険かという、21世紀になって地球規模の異常気象が発生しています。

日本への食糧供給国が食料を生産できなければ、それらの供給国は食料の輸出をストップします。現に中国では自国内の大豆の消費が増え、日本への輸出が突然止まるということが出始めています。

ところが日本は食糧の自給率が非常に低く40%です。

水産物も酷い状況です。水産庁の漁業資源課に問い合わせると、日本の水産物の自給率は57%まで落ち込み、どんどん低下しているそうです。

かつては世界一魚を食べ、獲って、魚を輸出していた日本人が、今や世界一、魚を買っているのです。

全国に農業高校が約100校あるそうですが、そこを2004年卒業して家の農業を継いだ人は全国で400人程度しかいないそうです。

果たして「食」や「農」の大切さはどこまで教育に反映しているのかという問題を考えると、ますます日本は大変な国になってしまうでしょう。

